

令和元年度第3回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2019年7月10日（水）

時間：18時30分～21時10分

会場：品川区立総合体育館会議室

出席者：一川邦彦、河原茂光、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一、釋洋一（以上監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、加減幸良（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、白井伸一、成田健一、下平歩実、塩野谷住雄（以上常任理事）

林直樹（学連委員長）、山本丈葵（競技副委員長）、永田絵弥子（審判副委員長）、溝上日奈子（表彰委員長）、三木実樹（広報委員長）、飯塚美里（財務副委員長）、桜井雄規（コンプライアンス委員長）、丸山昇太、佐野愛、山下翼、森翔平（以上学連委員）

オリンピック組織委員会菅野さん、東京ホッケー協会中澤さん

古屋会長が欠席のため、一川副委員長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. インカレ準備状況の確認

・「第68回男子・第41回女子全日本学生ホッケー選手権大会実施要項（案）」の内容一部修正について協議を行った。「参加申込期限」を当初の9/4から、（Bインカレが9/6まで実施されることを踏まえ）9/11に延長する案を協議した。結論として、9/11ではパンフレット作成に間に合わないため、当初の9/4は変更せず、Bインカレ参加校からは事前に必要なデータ提供を受けることとした。また参加申込以降の、部長の変更については原則禁止を明記することとした。

・インカレ四日目および五日目におけるサブピッチの使用について協議を行った。当該日においては試合数を考えれば一面で足りる状況であり、不要な出費は抑えるべきとの意見もあった。一方で、オリンピックで使用する競技場を使える機会でもあり（国際大会では二面確保するのが通常であり）、既に使用権を確保している状況等も踏まえ、協議の結果、両ピッチとも使用すると結論に至った。なお、予算（費用）については、大井競技場の費用について流動的・未確定な部分があり、もう少し状況を見てから、修正予算を組むことが確認された。現状の予算では赤字（関東学生ホッケー連盟の負担が発生する）の状況であり、日学連からの交付委託金増額は見込めるが、JHAの補助金増額可否が読めない状況のため、今後も継続して折衝を続けることが確認された。

・7/3日学連理事会で決定されたインカレ出場枠数についての説明があった。

・エフエム甲府による中継・収録について、例年通り実施することについて承認した。

・インカレ工程表に基づき、各委員会の準備状況について確認を行った。

三木広報委員長より現在までの準備状況について説明があった。広告協賛リストは整備済であるが、早めに社会人理事からも広告協賛の依頼を行う必要があり、趣意書を早期に作成し、学生・

社会人役員に展開するよう指示があった。他、パンフレットについては昨年より印刷部数を増やすなどの説明があった。

溝上表彰委員長より現在までの準備状況について説明があった。レプリカについては、従来のサイズよりも大きくして、(関西と同等の)レプリカにすることが確認された。

林委員長より競技担当の項目については、各加盟校には派遣依頼が済である旨の報告があった。

その他、救護について工程表に記載が無いが、対応する必要がある。今後、東京ホッケー協会に協力を仰ぎ、救護担当の医師・看護師等の確保の必要が確認された。

2. 令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ実施要項について

- ・林委員長より令和元年度秋季関東学生ホッケーリーグ実施要項について説明があり、記載内容の一部修正を行い、承認した。

- ・会場については、大井、駒沢を優先して使用する旨が確認された。

3. オリンピックテストイベントへの参加協力依頼について

- ・オリンピック組織委員会菅野さんより、オリンピックテストイベントへの参加協力依頼について説明があった。

- ・8/17～8/21に開催されるオリンピックテストイベントについて、その意義(今後のオリンピックに向けた体制整備等)の説明があった。ボールパトロール(ボールサーバー)、リエゾン(各チームのアテンド役)について、加盟各校からの積極的な参加の要請があった。ボールパトロール(ボールサーバー)については大学ごとに8名で1チーム組む体制が望ましい旨の説明があった。

- ・既にオリンピックテストイベントへの協力依頼は加盟各校に連絡済ではあり、7/13に結果を取りまとめることが報告された。

4. オリンピック関連の特別委員会の設置について

- ・寺本副会長より、来年のオリンピックに向け関東学生ホッケー連盟の特別委員会としてオリンピック準備委員会の設置が提案され、承認された。

- ・ボランティアの絶対人数について確保するために学生に期待するところは大きい。各大学の1、2年生を中心に組織し、来年以降、対応してほしい。オリンピックの後には、マスターズ大会も控えており、JHAと連携して、学生への窓口としての役割を期待している旨の説明があった。

- ・具体的な組織については、学生で協議し、今後、協議・報告することとした。

【報告／連絡事項】

1. 予算執行状況の報告

- ・飯塚財務副委員長、萬納常任理事より、予算執行状況について報告があった。

2. コンプライアンスセミナーについて

- ・桜井コンプライアンス委員長より、6/4に開催したコンプライアンスセミナーについて報告があった。

3. 東西交流戦について

・桜井コンプライアンス委員長、溝上表彰委員長より男子および女子の東西交流戦実施状況について報告があった。メンバー選出に際し、注意すべき事項について確認した。

4. 表彰委員会活動報告

・溝上表彰委員長より、春季リーグの表彰状況、表彰物の修理などについて報告があった。

次回役員会は8/19月18：30～（会場は未定）に開催することが確認された。

以上

（押印略）

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 林直樹